

田中康夫  
県知事のもと

## 県民のためになることは

長野県視察報告

# 財政の許すかぎりドンドン実行

広島市議団の皆川けいし、中森辰一、村上あつ子の3市議は5月26日、長野県におもむき、田中康夫知事のもとで県民本位の福祉・教育施策がどう前進しているのか、その中で日本共産党長野県議団がどういう役割を果しているのかについて調査してきました。本号では、その概要をご紹介します。

### おもな調査・視察内容

- 県公共工事の「入札制度改革」の現状について
- 1.5車線など「ローカル・ルール」による道路整備事業について
- 長野県財政改革推進プログラムの説明
- 共産党長野県議団との懇談

### 皆川けいし市議団長の視察後の感想

#### 田中知事の決断と実行力に敬服

まず、田中知事の決断と実行力にあらためて敬服しました。田中知事は、「県民のためによいこと」なら、財政の許すかぎり、知事の権限でドンドン実行しています。

たとえば、入札制度の見直しについても検討委員会の最終答申を待って実行するのではなく、委員会で合意したものは即実行しています。

### 徹底した「現場主義」が決断の原動力

田中知事の決断の原動力になっているのが徹底した「現場主義」の考えです。

現場で県民と直接接する職員こそ、もっとも重要な仕事を担っているという考えのもと、4月の人事異動では優秀な職員を地方事務所や現地事務所に配置しています。

また要求が出されると、即刻、県の幹部が自ら現地に出向き、実態をつかんで即改善するという姿勢に変わりつつあるそうです。私たちが視察した日にも知事室の分室が県南部の塩尻市に開設されました。

(裏面へつづく)



ガラス張りの知事室で懇談する田中康夫長野県知事(左端)と日本共産党長野県議団＝2002年9月、長野県庁1階県民ロビーの一角にある知事室にて

## 広島市も「市民のためによいこと」は即実行できるよう 日本共産党広島市議団は全力をつくします

(表面のつづき)

## 従来の枠にとらわれない柔軟な政策を次々に

さらに、従来の枠にとらわれない、柔軟で地に足がついた政策を次々に打ち出しています。

「長野モデル創造枠予算」として、職員からの積極的な提案(1.5車線道路や30人学級など)を積極的に採用して予算をつけています。

## 県内各地で無党派と共産党の共同ひろがる

二度の知事選と今回の県議選を通じ、県議会の力関係は大きく様変わりしました。

正副議長に続く要職とされる監査委員や、常任委員会の委員長・副委員長に県政史上初めて共産党議員が選出されるなど党県議団の役割も非常に重要となっています。

かつて58人中、40人を占める最大会派に牛耳られていた県議会は、現在10会派に分かれています。

また、県内各地で田中知事の応援団(しなやか会)や無党派層と共産党との共同が目に見えて進んでいます。

## 広島市も「市民のために」はスピーディーに

広島市でも、秋葉市長には議会の顔色を見ながらやるのではなく、市民のためによいものは市長権限でドンドン具体化し、田中知事のように勇気と決断をもつてスピーディーにすすめてもらいたいものだと思います。

# 6月議会がはじまります

2003年第3回 広島市議会定例会等日程

6月24日(火)	本会議(市長説明等)
27日(金)	本会議(一般質問)
30日(月)	本会議(一般質問)
7月 1日(火)	本会議(一般質問・質疑)
2日(水)	常任委員会審査
3日(木)	常任委員会審査
4日(金)	本会議(議決等)

◆常任委員会の日程等詳細は未定です。

日本共産党を代表して

皆川けいし議員が一般質問をおこないます。

(日時は未定)

本会議・常任委員会とも午前10時からです。

ぜひ、多数の傍聴をお願いします